

---

# 大乱逃走中    ダイラントウソウチュウ

死神魔姫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大乱逃走中 ダイラントウソウチュウ

### 【Nコード】

N6927X

### 【作者名】

死神魔姫

### 【あらすじ】

なんと今回作者が書く逃走中はスマブラ×逃走中ではなく、大乱闘×逃走中！！

作者+マスハン+クレハン+ がミッションを出していく！その+とは！？

マリオ「うおー！ハンターが\*\*して来る！！」

ルイージ「で、でも僕たちも\*\*できるよ！」

マリオ「そういえばそうだったな・・・」

さあ\*\*に入る言葉とは？それは見てからの楽しみ！！！！

始まりです・・・（前書き）

死神魔姫こと作者です！小説書くのは初めてなのでおかしい所もいっぱいあると思うので、できるだけがんばります！  
では、スタートです！

始まりです・・・

作者「よしっ！逃走中はじめるぜ！-」

マリオ「めんどい・・・」

作者「いや、ちよっ、まてよ！君の第一声めんどいつて・・・」

マリオ「だつてさー、これ作者が初めて書く小説だろ。絶対ためし書きだろ。」

作者「ち、ちがうよ！」

マリオ「絶対ためし書きだつて。だつて作者の友達に催促されて書いたんだろー？」

スマブラメンバーたち「そーだそーだ！」

作者「や、やめてくれー！悲しくなっちゃうじゃないか！」

ルイージ「でも兄さん。この小説のタイトル気にならない？」

マリオ「ああ、あの大乱つて入っていることか？」

ルイージ「そうそう、あの部分も気になるし、作者もかわいそうだからやってあげない？」

マリオ「急にか！まあ金が入るなら・・・」

作者「もちろん！あげますとも！（マスのハンのポケットマネーですけどね）」

マリオ「じゃあ仕方がない。やってやるか！」

作者「ではでは、登場人物設定とルールを次にかくぜ！」

始まりです・・・（後書き）

ふう・・・やっと1話書き終わった・・・

実はこれ書くのに1時間もかかったんですよ・・・

あああつ、もっと書く速度を速くしないと・・・

## 逃走者紹介1（前書き）

やっと2話目か・・・

本当に終わらせれっかなこれ・・・

まあいい！がんばるぜ！



## 逃走者紹介 1

逃走者たち 1

マリオ

いつもクッパにさらわれたピーチをルイージと一緒に助けている。しかしマリオによれば、ルイージが居なくても助けられるとか。今回は、逃走を成功させて賞金でグアムに行くとか。

ルイージ

皆からネガティブキャラっぽいと言われている。足はそこそこ速いのだが、運が作者が引くぐらい無い。実は作者はマリオよりルイージの方が好き。

ピーチ

キノコ王国のお姫様。

いつもいつもクッパにさらわれては、マリオとルイージに助けられている。

数少ない女子の逃走者。

クッパ

毎回毎回ピーチをさらっては、マリオとルイージにボコられている。この前なんかはさらう前にピーチにボコられたらしい。足の速さはネスとリュカと同じくらい。

ドンキーコング

バナナが大好きな森のヒーロー。

お供にディディーコングを連れている。体の大きさの割に足は速い。

ディディーコング

赤い帽子とベストがトレードマークのチンパンジー。

力自慢のドンキーに対しスピードと身軽さが売り。

足はピカチュウより少し遅いぐらい。

ヨッシー

マリオとルイージのペット的な存在。

カービィとは大食い仲間。

足はあまり早くはないが卵に入ればそうとう速い。

ワリオ

いつもワルイージと一緒に手を組んではマリオたちの邪魔をする。

実は自分の会社を持っている。

足は結構遅い。

リンク

ゼルダとは片思い中の剣士。

いろいろな武器を持っていてとくにマスターソードがお気に入り。

足は以外に遅め。

ゼルダノシーク

魔法を使い二人の姿を扱うことができる。

今回は両方の姿を使うらしい。

足はシークの時はトップを争う速さ。

ガノンドロフ

見た目は顔の怖いおじさん。

しかし本当はリンクの宿敵。

足は見た目の通り鈍足。

トゥーンリンク

一言でいうと、一回り小さくなったリンク。  
いつもガノンに小僧といわれている。  
足はリンクよりも確実に早い。

ゼロスーツサムス

今回はパワードスーツが邪魔だったらしいので脱いできたらしい。  
職業は賞金稼ぎ。

足はシークと同じくらい。

ピット

すごく生意気な天使。

今回はマスハンの能力で長い間飛べるようにしてもらった。  
足は普通だが、空中での速さはピカイチ。

アイスクライマー

ポポとナナ二人で逃走する一風変わった逃走者。  
ポポかナナどちらかが捕まれば逃走失敗となる。  
足の速さは微妙。

ロボット

すべて片言でしゃべるロボット。  
Mr.ゲーム&ウォッチとは片言仲間。  
足の速さは超平凡。

カービー

ププランドを救った英雄。  
しかし本人はそんな自覚はない。  
こっちもマスハンの力でたくさん飛べる。

## 逃走者紹介1（後書き）

よしっ！これで逃走者紹介前半終わり！  
次は逃走者紹介2！

## 逃走者紹介2（前書き）

今週の月曜日、女友達と一緒にユニバに行くぜい！  
というか更新の割合が一週間に一回になっている・・・  
せめて一週間に2話は書かないとやばいな。  
ともかく3話目スタートオ！

## 逃走者紹介2

メタナイト

一頭身なのにかっこいいププランドの戦士。  
関係ないが作者はメタさんの使い手。  
足はシークよりちょっと遅い。

デデデ

巨大なハンマーを持つ、ププランドの大王。  
容姿は腹巻をまいた青いペンギン。  
足は、はつきり言って鈍い。

ピクミン&オリマー

ピクミンが居ないとほとんどただの人。  
今回は5匹まで連れ歩きOK。  
足は平均的。

フォックス

やとわれ遊撃隊、スターフォックスのリーダー。  
ウルフとは仲が悪い。  
足はとっても速い。

ファルコ

スターフォックスの一員。  
あだ名は焼き鳥。

足は速そうに見えて実はあまり速くない。

ウルフ

いつもいつもフォックスたちと喧嘩をしている。

特にファルコとはとても仲が悪い。  
こちらにもイメージほど素早くない。

キャプテン・ファルコン  
レーサーでもあり、一流の賞金稼ぎ。  
仲間同士だからかサムスとは仲がいい。  
足は2番目に速い。

ピカチュウ  
全ポケモンシリーズに登場する人気ポケモン。  
一応性別は らしい。  
隠れるのも、逃げるのも得意。

ポケモントレーナー（リザードン）  
今回はポケトレは参加せず、手持ちの代表としてリザードンが選ばれた。  
言葉はマスハンがどうにかしてくれるらしい。  
足は巨漢の割に速い。

ルカリオ  
傷つくほどに強くなる逆境ファイター。  
見た目は青い狗。  
足の速さは速くもなく遅くもない。

プリン  
歌っては誰かを眠らせる困った子。  
今回はうたうは使用禁止。  
足はダントツビリ。

マルス

顔のかわいい腹黒王子。  
ピットとは仲が悪い。  
足は多分早い。

アイク

グレイル傭兵団の団員。  
お肉が好きなどかわいい所もある。  
賞金の使い道は「お肉！」らしい。

ネス

とっても黒い（中身が）12歳の少年。  
特におっさんグループに黒い発言をしまくる。  
この前もネスによってガノンが落ち込んでいたらしい。

リュカ

先輩を習って（？）黒くなった子。  
しかしポケトレには絶対に黒い発言をしない。  
先日もリュカによってスネークが心に大きなけがを負ったらしい。

Mr.ゲーム&ウオッチ

ロボットとは片言仲間。

任天堂の一番の古株。

足の速さは謎。

スネーク

作者の友達の中でのスネークのあだ名は「すね毛」（スネークファンの人すんません）

この前仕掛けておいた地雷にリュカがはまりボコられた。  
足は結構遅い。



ソニック

音速で走るハリネズミ。

言葉の中にときどき英語が混じる。

足はダントツ一位。

## 逃走者紹介2（後書き）

やっと書き終わった・・・  
次はルール説明だぜ！

## ルール説明っ！！（前書き）

何とも不吉な字・・・ 4つてなんか不吉な感じがする気が・・・  
まあ俺の気のせいかな！今回もポジティブに！！  
（ていうか作者、！マーク好きだな）

ルール説明っ！！

マスハン「よし全員集まったな。」

マリオ「なーなー早くルール説明しろよコノヤロー。」

マスハン「神にそんな口をきくな！ま、まあいい。よしっ、クレハン出番だ！」

クレハン「なんで俺に押し付ける！お前がやれ！」

マスハン「しかたがないな・・・じゃ簡単にルール説明をするぞ。まあ簡単に言えば攻撃できる感じになった逃走中だと考えてくれればいい。」

ネス「おいおっさん。そんな説明でわかんと思う？」

マスハン「スイマセン・・・」

クレハン「仕方ねーなー。俺が説明してやる。まず今回のハンターは特別製だ！」

ルイージ「どこの部分が？」

クレハン「一つ目は軟な攻撃じゃ場外をさせられないようにしてる。」

ヨッシー「いや、軟な攻撃とか以前に攻撃できないじゃないですか。」

クレハン「いや、そこがこの逃走中の特徴だ。なんとハンターに攻撃してもいい特別ルールを作った！」

全員「おおー！」

クレハン「しかしそんなんじゃないやみんな逃走成功しちまうからな。もう一つハンターには最大の特徴がある！！！」

デデデ「それはどんな特徴ゾイ？」

クレハン「それはな・・・攻撃すると攻撃した奴の長所と攻撃した技をコピーされちまうんだ。」

ナナ「それどーゆー意味？」

クレハン「たとえばソニックが攻撃したとする。そうするとハンターの足がソニック並になるんだ。」

クッパ「そんな・・・じゃ、じゃあワガハイが攻撃したら？」

クレハン「力が強くなってももちろん攻撃した技もコピーする。」

クッパ「そ、そんな・・・」

ピーチ「でも攻撃したら少しは時間は稼げるんでしょ？」

クレハン「ああ。まあハンターにとってもだがな。」

ゼルダ「えっ！じゃあハンターも逃げるのを妨害してくるんですか

！？」

クレハン「もちろんだ。」

リンク「ということはむやみに攻撃するのも少し考えようがありませんね・・・」

クレハン「ま、そういうことだな。あとはコピーした技と能力は特別なことがない限りコピーしたままになる。」

プリン「技が使えることが有利なのか不利なのかわからないでしゅ・・・」

ピット「じゃあ僕たちも飛べるんですかー？」

クレハン「もちろん。だが背中にジェットをつけたハンターも用意しておいたので油断は禁物だ。」

メタナイト「こちらでも使いどころが難しいな・・・」

カービー「ほんとだー。走って追っかけてくるハンターに気を取られて空に逃げた途端捕まっちゃうかもしれないポヨ・・・」

クレハン「説明はこの位にしておいて、次はオープニングゲームだ。」

ルイージ「絶対逃げ切る！（オープニングゲームで）」

## ルール説明っ！！（後書き）

次やっと思走が始まる・・・

ここまで来るのに相当時間かつたな・・・

後宣伝！ゆうらが書いてる小説も見てやってくれい！

オープニングゲームウウウ！！！！ &1t;1&gt;

クレハン「よし、オープニングゲーム始めるぞー。」

ウォッチ「トコロデナンデマスハンデハナク、クレハンガシキッテイルノデスカ？」

クレハン「んーなんかこの前チ○ルチョコを3箱ぐらい買って、ロードオブザリオグをツ○ヤで全巻借りてたから多分チ○ル食いなから見てんじゃねー？さっきどっかいったし。」

マリオ「あのくそ神、何仕事サボってるんだよー！！」

クレハン「あーもー、とにかく始めるぞー！！」

ピット「質問なんですけどー、何分逃走するんですかー？あと一秒何円ですかー？」

クレハン「今から教えるから黙れ。今回の逃走時間は180分。一秒300円だ。」

ロボット「トイウコトハ合計324万円トイウコトデスネ。」

クレハン「ま、そういうことだな。あとはステージだが5つの国に分かれていて北にある国は、天馬ノ国、東にある国が、大蛇ノ国、西にある国は、一角獣ノ国、南にある国は、飛龍ノ国、そして中央にある国、まあ一番大きい国だがそこが巨龍ノ国だ。」

メタナイト「どうやって移動をするのだ？」



クレハン「巨龍ノ国からすべての国へは橋が繋がっている。あとそのほかの国は、隣同士の国としかつながっていない。あ、それと空飛べる奴はつながってない国同士を行き来するとその時点で失格となるから注意しろよ。」

カービー「わかったポヨ！」

クレハン「そうだ、忘れるところだったがこれを全員に渡しておくぞ。」

ルイージ「これは・・・地図と自主コイン1枚か・・・」

クレハン「あと迷うことはないだろうが、国にはその国の名前に入っている怪物の銅像が置いてあるからそれを印にしてくれ。」

全員「はい」

クレハン「じゃあほんとにオープニングゲーム始めるぞ。まずくじを引け。」

さあ一番はいたい・・・？

ルイージ「僕だね。」

マリオ「やばい！みんな逃げる体制を作れ！！」

ルイーダ「ひどいよ兄さん！！絶対僕が引くとは限らないでしょ！！」

マリオ「絶対引く！」

ルイーダ「もういいよ！絶対引かないぞ！」

クレハン「ちょ、ちょっと待て。まだ説明をしていない！というかまだ用意してない！！」

マリオ「えー。はやくしろよ。」

クレハン「あーわかったよ！ここ鎖があるから引け！はずれ引いたらハンターが三人出てくる！そんだけだ！」

マリオ「いつもとおんなじだな。」

さあルイーダの挑戦です！

ルイーダ「よしっ。29番引くっ！」

ルイーダの運命は…？

じゃらら・・・

セーフ！

ルイージ「やったー！じゃあみんな頑張ってね！。

マリオ「うおー、なんで、なんでルイージが引かないんだー！」

ピーチ「これでこのケーキとあんぱんは私のものね。」

どうやらルイージが引くか引かないかで賭け事してた模様・・・

次はいつたい誰が引く？

次回へ続く・・・

オープニングゲームウウウ!!!! &lt; ; 1 &gt; ; (後書き)

なんと皆さんのおかげでもう少しでアクセス数が500となります!  
これからもがんばっていくぜい!

オープニングゲームウウウウ！！！！ &1t;2&gt; ; (前書き)

どうも死神です。俺のプロフィール見てくれた人は知っているかと思っけど俺の名前は『しにがみ』ではなく『しがみ』ですよ！

まあそんなことはともかく6話目にゴー！！！！

オープニングゲームウウウ！！！！ &1t;2&gt;

さあはずれを引く候補ダントツ1位だったルイージがあたりを引き  
皆は焦り始め・・・

マルス「ま、まあこの王子がはずれをひくわけないよ・・・」

マルスが二番目のようだ・・・

アイク「ひくんじゃないか？」

マルス「ひどいよ！アイク僕は絶対にひかないよ！」

マリオ「むぶくく・・・あっはっはっはー！！！」

マルス「なんで笑うんだよ！！！」

マリオ「おまえきずいてないみたいだけど前のルイージみたいにな  
ってんぞ！！あはははは！」

マルス「う、うるさい！絶対引かない！よし1番を引く！」

じゃ・・・

セーフ！・・・と思いきや・・・

マルス「うわ！！なんか出てきた・・・なにに、（これをだれかになげるとそいつの足が遅くなるぞ！ついでに逃走者にも投げられるぞ！）・・・か、これどう見ても蜘蛛の巣だよね？まあいいやこれで・・・ふふふ・・・」

マルス蜘蛛の巣ゲット！！！

マルス「じゃあねー」

マルスは向こうの方へと消えていった・・・

すね毛「次はだれだ？って誰がすね毛だ！！」

作者「ごめんごめんタイプミスったんだよ。（嘘）」

ソニック「次は俺だぜ！！！」

逃走成功候補一位のソニック、何番を引くのか！？

ソニック「よしっ！7番を引くぜ！」

ソニックの運命は・・・？

ぐわしゃああん！！！！！！

ハンターが放出された!!

ソニック「オーマイガット!!はずれかよ!でも俺がいたら迷惑になる!だから捕まってやるぜ!」

ピーーーー

ポンッ

クレハン「ソニック逃走失敗だぜー!」

ピロリロリン

ネス「うるさいなもう!なにになに・・・ソニック確保・・・ソニックさん捕まっただ・・・珍しいな・・・」

ピーチ「ついに逃走開始しましたわね。」

ピカチュウ「隠れるとこさがしとこつと。」

プリン「ベンチの下ならばれないでしゅかね?」

カービー「てんまのくににいくポヨ!」

スネーク「巨龍ノ国が一番広いようだがあえて飛龍ノ国に行くとするか・・・」



それぞれ隠れ場所を見つけたり移動したりしている模様・・・  
一方監視塔では・・・

作者「ついに始まったなー逃走中。俺的にはおじさんグループの中の誰かが引くと思ってたんだけどなー、予想外れたぜ。」

クレハン「まあいいんじゃないのか？それより一つ目のミッション、どうするんだ？」

作者「それなら助っ人を呼んでるぜ？ま、俺の友達だよ。」

クレハン「どんだけミッション作るの面倒なんだよ！まあいいか。」

ついに次回逃走劇が始まる！

オープニングゲームウウウウ!!! &1t;2&gt; (後書き)

皆さん感想お願いします。  
ではさらば!

第一ミッション・・・「紅茶とコーヒーどちらが大好きですか？」（前書き）

今回の題名全然意味わかりませんよね？これは今回のミッションに関係していることなんで全然気にしないでいいです。

あと出来れば感想ください。お願いします。

第一ミッション・・・「紅茶とコーヒーどちらが大好きですか？」

さあついに始まったゲーム、生き残れる逃走者はいつたい？

マリオ「あー暇だな。逃走する場所広い割にはハンター3体って。絶対生き残れるじゃん。」

余裕のマリオ、しかしこの逃走場所の広さがあとあと問題に・・・

リンク「開始から10分たったけど全然ハンターこないなー。これなら生き残れるかも・・・」

しかしそんな余裕のリンクの前に・・・

リンク「うわっハンター!？」

気を抜いていたリンク、攻撃も加えられずに・・・

ピーーーーーー

ぽんっ

リンク確保!

リンク「気抜いてたからか・・・」

ピロリロリンッ

メタナイト「ミッションか？なになに（リンク確保）・・・か。これだけ広いというのに開始十分で捕まるとはそうとう気を抜いていたのだな。」

カービー「空ってどんなのだろ？今多分お空のハンターいないみたいだし行ってみるポヨ！」

伝えるの忘れてましたがハンター3体というのは陸2、空1ということです。

カービー「・・・普通に空だ・・・ポヨ・・・」

その頃監視塔では・・・

クレハン「そろそろミッション出した方がいいんじゃないか？」

作者「ちよつと待て、今いいとこなんだ！」

クレハン「何ゲームしてんだよ！ほんとどうするんだよ・・・」

ぽんぽん

クレハン「だれだ？いま俺の肩たたいたやつ？」

（クレハンの肩ってどこなんだ？）

「???」「紅茶とコーヒーどちらが好きですか？」

クレハン「えっ?ど、どっちかというとコーヒー・・・」

「???」「かしこまりました！」

作者「よしっ！クリアだ！で、クレハン要件って何？」

クレハン「聞いてなかったのかよ！ミッションのことだよ！」

作者「ああそれだったら助っ人を呼んだはずなんだが・・・見なかったか？」

クレハン「そういえばさっきなんか紅茶かコーヒーがどつたらこうたらって聞いてきたやつがいたけどそいつのことか？」

作者「たぶんそれだ・・・どこ行っただか知ってるか？」

「???」「ただ今持ってきました！」

作者「おう！モカどこ行ってたんだ？」

モカ「クレイジーハンドさんのコーヒーを注ぎに行っていました！どつぞクレイジーハンドさん！」

クレハン「?わいい!..お、おうアリガトウ・・・」

作者「モカ、ミッション手伝ってほしいんだけどいいか？」

モカ「はい、いいですよ。かわりにそのあと逃走者の皆さんのもと

へ行つて観察してきてもよいですか？」

作者「ああ、いいぜ。じゃあこれをみんなに送ってくれないか？」

モカ「かしこまりました！」

ピッピッピー、送信カンリヨウシマシタ。

モカ「できました！」

作者「ありがとう、あとはこのミッションを逃走場所で見張っておいてくれ。じゃ、俺は寝る・・・」

モカ「判りました！」

クレハン「居眠りすんじゃないねー！しかたねえなー。そのモカとかいうやつここに乘ったら向こうに転送されっから。」

モカ「では行つてまいります！」

逃走場所へと戻る・・・

ピロロン！

クッパ「なにごとだ！また捕獲なのか？」

メール・・・（どうも死神くんの代わりに来たモカというものです！これからミッションの内容を言いますので聞いていてください！

残り時間140分になるとハンターたちが1分ごとに分裂を始めます。それを阻止するためには、ハンターに攻撃を2回当てないといけません。あと同じハンターを同じ逃走者が攻撃すると無効になりますのでご注意ください。攻撃を二回当てたハンターは分裂しなくなります。もちろん攻撃をすればハンターは能力をコピーしてきますし、捕獲しようとしてもします。それと広いステージではハンターが見つけれないのである便利な道具を5個宝箱に入れていろいろな場所に置いたので見つけた時は使ってくださいね。その道具の電源は残り時間140分になると強制的に落ちますのでそこらへんは覚えておいてください。ではお知らせは終了です！皆さん頑張ってくださいね！)

クッパ「なにー！ハンターが分裂だと！で、では残り時間145分になったらハンターの数・・・56体だと！これは何とか阻止せねば！」

シーク「これはやばいね。ハンターが5分で53体増えるということだね。行くとするか・・・」

ピカチュウ「うごいたら見つかりそうだしハンターが通りかかったら攻撃しようかな・・・」

ルイージ「やばいやばいやばい！どーしよー！これは行くしかないよね？」

いつもミSSIONに行かない人たちもいくようだ・・・

残り逃走者・・・35人

ミSSION残り時間・・・20分



ハンターの分裂を止めることはできるのか？

第一ミッション・・・「紅茶とコーヒーどちらが大好きですか？」（後書き）

モカというのは俺のリア友です。小説では女ですが、現実は違うかもしれませんねー。俺は知ってますよ？ということで次回で第一ミッションの結果出ます。多分・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6927x/>

---

大乱逃走中 ダイラントウソウチュウ

2011年11月21日12時05分発行